

大岳山山行報告

【山行日】2018年 6月 28(木) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 4,300円

【メンバー】 CL:鈴木、安西、大西、石澤、
島田、関、関口、田村や、福島

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=滝本駅駐車場

7:40/7:55+++御岳山駅 8:01/8:20~御嶽神社

8:50/9:00~ロックガーデン休憩所 9:40/9:50~

綾広ノ滝 10:00~大岳山 11:30/12:00~芥場峠

12:50/13:00~トイレ 13:20/13:30~御岳山駅

14:05/14:15+++滝本駅 P14:21/14:35=岩舟支所 P16:20

湯の丸山の60万本のレンゲツツジを見たいと計画したが、あいにく雨天となり大岳山に変更し計画した。岩舟支所を6時に出発し東北道から圏央道を通り青梅 IC で降り、青梅市街を抜けて吉野街道を進む。御岳山ケーブルカーの滝本駅に着き、有料駐車場に車を止め準備をしてケーブルカーに乗り御岳山駅に着いた。ケーブルカーの中で昼食の蕎麦を忘れたことに気づき、昼食の無い3名



はあわててお土産屋でパンを購入した。御岳山駅前の広場でストレッチを行ってから出発する。

御岳山駅からは左に舗装道を進み、ビジターセンターを右に見て宿坊が並ぶ山上集落へと入る。

神代ケヤキを過ぎ土産店の間を抜けると隋神門があり、その先で分岐に出る。前方の石段を上がり武蔵御嶽神社に寄るが、暑さで汗が吹き出し額から垂れてくる。紀元前90年建立と言われる本殿は立派で、2100年前にこのような山深い場所に建立出来たなと感心した。参拝後本殿から石段を

少し戻り、道標に従って右に下ると大岳山への道に出る。長尾平展望台への道を分け、その先の七代の滝への道も左に分けて直進しその先の分岐を左にロックガーデンに向かって下って行く。

やがて天狗岩と呼ばれる大きな岩に出て、七代の滝からの道と合流し御岳沢に降りて行く。ここからがロックガーデンと呼ばれる所で、苔むした岩の間を清流が流れる涼しげな道を歩いて行く。しばらく進むと東屋やベンチがある休憩所に着き、休憩を取ってマンゴーやトマトで喉を潤す。休憩所にはトイレも有、女性達にはとてもありがたい。ここからも沢沿いに進み、大きな岩の間を抜けると綾広の滝に出る。落差10mと小さな滝だが大きな岩に囲まれ、パワースポット的な雰囲気のある滝である。



御嶽神社の禊の神事が行われることから、「修行みそぎの滝」とも呼ばれるそうだ。滝から急斜面を



登ると分岐に出て、左に進み芥場峠へと登って行く。芥場峠の先で御岳山からの縦走路と合流し、直進して大岳山へ向かう。横に鎖が付いた岩場を何か所か登り、大岳山荘が見えるとすぐに大岳神社に着く。鳥居をくぐって石段を登ると小さな社があり厳かな雰囲気漂っている。神社をあとにちよっときつい坂を登って行く。途中にはクサリがある岩場があり、頑張って登り切ると大岳山山頂に着く。

大岳山の山頂は南側が開けており、丹沢の山々は一望出来たが富士山は雲の中で見えなかった。大岳山頂の立派な標石の前で記念写真を撮り、少し先の展望が良い場所でランチタイムとする。蕎麦を忘れたのでキノコ汁を作り、おにぎりやパンと一緒にいただいた。ランチの最中に富士山がうっすらと眺められ、「富士山が見られて良かったね」と喜んでいたら数分で雲に隠れてしまった。

お茶とデザートをいただいたら下山する。

下山は往路を戻り綾広の滝への分岐は直進し、御岳山駅に向かって降りて行く。途中、長尾平の手前に新しくトイレが出来ており、女性達が利用したがとても綺麗でありがたいと喜んでた。長尾平を過ぎ土産店や山上集落を通り、御岳山駅に戻った。

タイミング良くケーブルカー発車時間の10分前に着き、ほとんど待たずに乗ることが出来た。

滝本駅に着き靴を履き替えてお土産屋をのぞき、トイレを済ませたら帰路につく。圏央道の狭山PAに寄る予定だったが我輩がうっかり通過し、菖蒲PAに寄ってトイレを済ませ無事岩舟支所に帰着した。

